

# 黒と白の間に ある風景

鈴野しずね



## 雪の風景

---

朝に 雪が降っているさまは  
痛み苦しむ天使が 胸をかきむしるように  
自分の翼の羽毛を むしり続けているかのようで  
白の 白い空から  
黒の 黒いアスファルトに  
白が 舞い落ちていくような  
飛びたくない天使  
飛べない人間  
どっちが幸せ？  
どっちが不幸？

夜に 雪がやんでいくさまは  
もはや むしる羽毛が尽きたように  
雪の終わりに吹いた風は 泣きながらむしった風切り羽根を 投げ捨てたかのようで  
黒の 黒い空から  
白の 白い下界に  
黒を 突き刺したような  
飛べなくなった天使  
飛びたくなった人間  
どっちが不幸？  
どっちが幸せ？

## 0と1の風景

---

twitterに溢れるたくさんの眩きは

その中の言葉のいくつかは

まるでキーワード

見た瞬間 勝手に入力され検索してる

そして検索結果にいつも 驚き戸惑う

眩きの中の「0と1」は

白 と 黒  
二進法の白と黒

白と黒の間のSpaceは

その無限な空間は

全ての色の生息地

「0と1」を掴んでいる人は 全ての色を握ってる

私の頭の中のGoogle イカレてる。。。

## 黒と白の間にある風景

<http://p.booklog.jp/book/18354>

著者：鈴野しずね

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/shizushizu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/18354>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/18354>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.